

# 地域住宅計画の事後評価シート

資料 4

1. 事後評価を実施した地域住宅計画	
①計画の名称	湖南省地域住宅計画
②都道府県名	滋賀県
③計画作成主体	湖南省地域住宅計画
④計画期間	平成26年度～平成30年度
⑤計画の目標	『公営住宅等長寿命化計画に基づく建替え事業やストック改善事業を実施することにより「既存ストックの長寿命化」「高齢化への対応」「居住性の向上」を推進し、安全・安心で快適な公営住宅を供給する。』
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	湖南省において評価を行う（平成31年度6月）
⑦事後評価の結果	<p>指 標 1：長寿命化対策を実施した市営住宅の割合の上昇            定 義：市営住宅の総住宅戸数に占める長寿命化対策を実施した住宅戸数の割合の上昇            評 価 方 法：（長寿命化対策を実施した市営住宅の割合）  <math display="block">= \frac{\text{長寿命化対策を実施した戸数}}{\text{総住宅戸数}} (\%)</math>            結 果：従前値：0.0%（平成26年度）            ⇒目標値：4.0%（平成30年度）⇒実績値：0.0%            結果の分析：堂ノ上団地の建替え事業において、公営住宅等長寿命化計画策定指針の改定を踏まえた検討の中で、地形的および生活利便施設へのアクセス性が劣る現団地での建替えより、三雲地先に多くある立地条件並びに一定の質が確保された民間賃貸住宅を活用する民間借上型の住宅供給に対する優位性が高まった結果、整備方針を見直す必要が生じてきた。</p> <p>指 標 2：バリアフリー化された市営住宅の割合の上昇            定 義：市営住宅の総住宅戸数に占めるバリアフリー化された住宅戸数の割合の上昇            評 価 方 法：（バリアフリー化された市営住宅の割合）  <math display="block">= \frac{\text{バリアフリー化された市営住宅の戸数}}{\text{総住宅戸数}} (\%)</math>            結 果：従前値：14.0%（平成26年度）            ⇒目標値：50.8%（平成30年度）⇒実績値：23.0%            結果の分析：立地条件に優れる宮の森団地は、特に高齢化率が高く優先して個別改修に取り組んだが、54戸からなる東寺団地については入居者との調整に時間を要し実施に遅れが生じた。</p>
⑧結果の公表方法	湖南省のホームページにて公表する
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	事後評価の結果を踏まえ、次期地域住宅計画においても引き続き関連計画に基づく施策の重点的な推進を図り、湖南省域の課題に対応した取組みを進める。
⑩その他	なし

※この事後評価は別添の地域住宅計画について行ったものである。